



西中だより

第6号 令和5年5月19日(金)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくまい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

一年生の校外学習(林間学校)が行われました

5月15日(月)16日(火)に、一年生が、御殿場で1泊2日の校外学習を行いました。前週末時点の天気予報は「両日も雨」でしたが、実際には、15日の午前中こそ雨がぱらつきましたが、それ以降は晴天に恵まれ、予定した内容(ウォークラリー、キャンプファイヤー、野外炊事など)を全て行うことができました。

コロナ禍以降、数年ぶりに本来の形で実施となったわけですが、本校の校外学習は、ウォークラリーあり、キャンプファイヤーあり、野外炊事ありと盛りだくさんで、いわゆる昔の「林間学校」に近い内容となっています。

生徒は疲れたと思いますが、一方で、様々な体験をし、仲間との絆を深めたり、自分の役割を果たしたり、先を見通して行動するということを体験できたと思います。

本校は、かつて、昭和34年代から平成11年までの40年間、本校PTAとして独自の寮(「青雲寮」)をハケ岳に所有しており、毎年夏休みに、全ての学年が林間学校を実施していました。これは全国でも珍しかったようです(本校の卒業生の保護者や地域の方は「青雲寮」と聞いて懐かしく思い出す方もいると思います)。

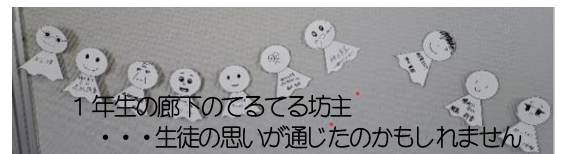
当時、青雲寮の敷地内にあった石碑が現在、生徒玄関前の植え込みに移設されていますが、そこには、「青雲に大志を抱く君たちが、高原に心を清め、夏に体を鍛えるために、この寮をつくりました」と刻まれています。

本校の校外学習が林間学校的要素を持っているのは、そんな歴史とも関係しているのかなどと個人的には思っています。

次は 三年生の修学旅行です

来週の5月24日(水)25日(木)26日(金)に、三年生が、京都・奈良方面に、2泊3日の修学旅行に出発します。ここ3年間にはコロナ禍により、中止や方面・日程・交通手段の変更など変則的な実施となっていましたが、今回は4年ぶりに、「5月に、2泊3日で、新幹線を使って、京都・奈良へ行く」という本来の形で行われます。今年の三年生は、小学校の時の修学旅行は、コロナ1年目で、方面や日程を縮小して行われましたので、今回の修学旅行②寄せる思いや期待は例年以上に大きいのではないかと思います。

右の写真は、修学旅行のスローガンです。センスの良さや修学旅行への期待が込められたスローガンだと感じています。「こころ・もの・からだ」の3つの準備を万全にして当日を迎えてほしいと思います。



夏休みには 二年生の職場体験学習が.....

二年生は、夏休みに職場体験学習が予定されています。こちらも4年ぶりの実施となります。キャリア教育の一環として、「働くことを体験的に学ぶ」ことが目的になります。2年生の保護者の方には、ご自分の子供さんの体験場所について探していただいています。



生徒の方も、実り多い体験活動となるよう、総合的な学習の時間などを使って準備を進めています。

今回は、それぞれの学年の体験的行事についてお知らせしました。学校の中だけでなく、校外での体験による学びは子供の成長にとって大事なことだと思います。基本的な感染症対策をとりながらになりますが、コロナ対応が一つの区切りを迎え、こういった体験的活動が行えるようになってきたのはありがたいことだと思っています。

ご家庭でも、朝の健康チェックや手洗い、規則的な生活などへのご協力をお願いいたします。